



田原市

四 渡辺華山

学者として、画家として、また政治家として活躍した渡辺華山は、寛政5年(1793)江戸の田原藩上屋敷(現・最高裁判所)で生まれました。8歳から藩に仕え、鷹見星草や佐藤一斎、松崎権堂らに学び、朱子学や陽明学をきわめました。幼少の頃から画にも親しみ、すぐれたデッサン力をもとに、独特の描線と西洋画の遠近法などをとり入れ、多くの名作を世に送りだしました。40歳で藩の家老職に就いてからは、田原藩の政務に貢献。義倉「報民倉」を設け、天保の飢饉のときに1人も餓死者をださなかったことは有名です。また一方では、高野長英らと西洋事情を研究し、鎖国の非を『慎機論』で記しましたが、幕政批判とされ田原で塾居を命じられました。藩に災いが及ぶのを恐れ49歳で自刃しました。田原市で所蔵する関係資料の一部が国の重要文化財に指定されています。



渡辺華山像(部分) 橋 橋山肇



一掃百態図 渡辺華山筆



田原市博物館

田原城・二ノ丸跡に建設された「田原市博物館」。渡辺華山、田原藩をはじめとする市の歴史資料が多数展示され、田原市の歴史を紹介するシンボルとなっています。隣接して田原市民俗資料館(入館無料)もあります。

田原城跡

田原城は文明12年(1480)頃、戸田宗光によって築城。当時は城域が海に囲まれ、その湾の形から「巴江城」とも呼ばれていました。現在は石垣、堀、土塁などが残

神明社古墳

境内の東に稲荷社があり、その奥に古墳の石室入口があります。径約15mの円墳で、横穴式石室は規模が大きく保存も良好で、石室内には2組の石棺がおかれていました。大刀・馬具・須恵器等が出土しています。また、棺のそばから金銅装・銀装大刀の金具が出土し、6世紀後半に築かれた有力者の古墳と考えられます。



田原まつり会館

田原市の主な祭りを大型スクリーンや展示パネルなどで紹介しています。特に田原まつりに曳かれる山車(市指定有形民俗文化財)が常設展示され、祭りの勇壮な雰囲気に触れることができます。



- 開館時間/午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日/毎週月曜日
(祝日の場合はその翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)
- 観覧料/無料
- TEL(0531) 22-7337

市 田原祭(山車とからくり人形)

「からくり人形」を乗せた山車で広く知られている「田原まつり」。毎年9月中旬の3日間にわたり開催されます。子どもが手踊りを舞う夜山車や打ち上げ・手筒・仕掛け花火なども披露されます。



- 開館時間
午前9時～午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日
毎週月曜日
(祝日の場合はその翌日)
年末年始(12月28日～1月4日)
- 観覧料
一般 210円
小・中学生 100円
※特別展、企画展の時の料金
については別に定めます。
- TEL(0531) 22-1720
- http://www.taharamuseum.gr.jp